

# 治安維持法に反対、散った闘士 山宣の足跡知って

山本宣治の足跡をPRする2種類のクリアファイル  
(宇治市宇治・市役所)



## 来月宇治で墓前祭 市民団体がファイル

治安維持法に反対し、39歳で暗殺された宇治出身の政治家、山本宣治（1889〜1929年）を顕彰する宇治山宣会が、山本の足跡などを記したクリアファイルを作った。2019年の生誕130年を前に、若い世代にも山本の功績を知ってもらおうと企画、3月5日の山本の命日に開く「山宣墓前祭」から販売する。

A4サイズ2枚組。赤を配色したファイルは表に長野県上田市の記念碑、裏に新潟県五泉村で揮毫した「唯生唯戦」の書と山本の生涯を記した。白のファイルは表に墓石碑文、裏は山本が暮らした料理旅館「花やしき浮舟園」（宇治市宇治）旧館のイラスト。

1組3000円で1500組作成。藪田秀雄会長（72）は「民主主義のために日本の先頭に立って闘った人が京都にいたことを知ってほしい」と話す。

墓前祭は88回目。午後0時10分から宇治市宇治の善法墓地で開き、花やしき浮舟園で「現代版治安維持法―共謀罪を許すな!」と題した講演を含む交流会を催す。事前企画で2月26日午後1時半から宇治市宇治の宇治市民会館で山本の生涯を描く映像作品2本の上映会を開く。いずれも無料。墓前祭の問い合わせは宇治市職員労働組合☎0774（22）5653。

(杉原慶子)